

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

施策	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進
目標	03	気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち
施策担当課	環境課	関係課 杉並清掃事務所 経理課 土木計画課等

施策目標 気候危機に立ち向かうための行動が浸透し、区民一人ひとりの行動を通じて、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギーの導入助成や省エネルギー対策の推進により、エネルギーの有効利用が進むとともに、災害時等における安定したライフラインの確保にも寄与しています。また、環境学習の充実を図られ、区民一人ひとりがライフスタイルの一部として、環境に配慮した取組や自然との共生に向けた行動を継続的に実践しています。

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成件数	指標名 (1)	区内の温室効果ガス排出量 (単位は千t-CO2e q)
算式・指標説明		算式・指標説明	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」算定数値 (特別区協議会) 【社会】
指標名 (2)	電気自動車用充電設備設置助成件数	指標名 (2)	区内の太陽光発電導入容量
算式・指標説明		算式・指標説明	資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」 【社会】
指標名 (3)	環境学習個別学校支援校	指標名 (3)	環境に配慮した取組を行っている区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による 【区民】
指標名 (4)		指標名 (4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標	活動指標 (1)	1	件	706	884	1,005	884	1,342		
	活動指標 (2)	2	件	25	25	54	25	60		
	活動指標 (3)	3	校	23	32	24	34	22		
	活動指標 (4)	4								
成果指標	成果指標 (1)	5		1,604	1,489	1,616	1,409	1,636	848千tCO2eq	令和12年度
	成果指標 (2)	6	万kw	2.45	2.55	2.63	2.70	2.94	3.80万kw	令和12年度
	成果指標 (3)	7	%	87.4	89.0	87.5	90.5	84.3	100%	令和12年度
	成果指標 (4)	8								
	成果指標 (5)	9								
	成果指標 (6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	969,909	1,270,623	1,104,092	1,438,432	1,208,059	特記事項	
	人件費	12	千円	198,002	209,262	238,762	262,775	262,522	成果指標 (1) に関して、実績は当該年度において直近で把握できる2年前の数値で表示しています。	
	総事業費 (11+12)	13	千円	1,167,911	1,479,885	1,342,854	1,701,207	1,470,581		
	国・都からの補助金等	14	千円	1,778	3,003	6,227	11,991	37,491		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			15.0	15.0	9.5		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	17.0	14.1	17.8	15.4	17.9		

課題・分析	<p>再生可能エネルギー等の導入や断熱改修等省エネルギー対策、電気自動車用充電設備設置に関する各助成の実績は、区民の機運の醸成から、大きく目標を上回った一方、環境に配慮した取組を行っている区民の割合は、前年度をわずかに下回る結果となりました。また、区内の温室効果ガス排出量も、削減目標を下回る結果となりましたが、これは、当該値が2021年（令和3年）のものであり、コロナ禍からの経済回復等によるものと考えられます。温室効果ガス削減目標の達成には、区民・事業者が温暖化対策を「自分事」として捉え、環境配慮行動に取り組むことが不可欠であり、今後、一層、区民の環境意識の醸成を図り、温室効果ガス排出量の削減につながる取組を推進していきます。</p> <p>なお、計画していた旧南伊豆健康学園跡地の太陽光発電事業は、地盤調査等の結果、想定以上にコストを要することから、実施を見送りましたが、今後、区立施設の再生可能エネルギー電力調達の課題を整理し、方向性を定めていく必要があります。</p>
-------	---

施策の成果	<p>2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、区民、事業者、区が一体となって地球温暖化対策に取り組むため、「杉並区地球温暖化対策実行計画」を策定しました。</p> <p>二酸化炭素の排出量と吸収量を相殺するカーボンオフセット事業の実施及び体験型森林環境学習の導入に向けた検討、路面太陽光発電の試験導入に取り組むとともに、引き続き再生可能エネルギー等の導入及び断熱改修等省エネルギー対策助成、家庭・事業所における電気及びガスの使用量削減を促進するすぎなみエコチャレンジ事業等を実施しました。さらに、庁有車の電気自動車への切り替え等、環境配慮行動の促進を図り、温室効果ガス排出量の削減につながる事業に取り組みました。</p> <p>また、3月に、無作為に抽出した区民が参加する気候区民会議の第一回目を開催しました。令和6年8月までに全6回開催し、会議からの意見提案を区政運営に生かしていきます。</p> <p>このほか、小中学生環境サミットの開催や杉並清掃事務所職員による区立小学校や地域団体を対象にした環境学習を行うなど、環境意識の醸成を図りました。また、第8次自然環境調査を実施し、自然環境への理解促進に努めました。</p> <p>今後も、温暖化対策に関する区民の意識醸成と行動変容を促し、温室効果ガス排出量の削減に向け取り組んでいきます。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>2050年ゼロカーボンシティの実現には、より多くの区民や事業者が気候変動対策を「自分事」として捉え、区と一体となって取り組んでいくことが欠かせません。そのため、多くの区民参加が得られるよう、機運を醸成していくことが必要であり、区民の地球温暖化対策への興味関心を喚起し、行動変容を促す新たな取組である「ゼロカーボンシティ機運醸成事業」等の啓発に傾注し取り組んでまいります。</p> <p>また、全6回の日程で開催し8月で終了した杉並区気候区民会議からの意見提案についても、今後、気候危機対策推進本部で事業化の可能性の検討を行い、必要に応じて議会での予算審議を受け、その結果を3月に開催を予定するシンポジウム等で広く周知し機運醸成につなげていきます。</p> <p>創エネルギー事業の推進等では、多くの申請がある太陽光発電設備や電気自動車用充電設備等の導入助成について、申請状況を踏まえて助成枠の拡大を図り、取り組めます。また、省エネルギー対策の取組では、断熱改修等省エネルギー対策助成など、引き続き区民の省エネ行動を後押しする取組に着手するとともに、本庁舎等使用電力の再生可能エネルギーへの切り替えを行ってまいります。</p> <p>今後、より一層、区民等の実践を後押しし、支援できるよう、各取組を進め、温室効果ガス排出量削減に努めていきます。</p>
--------------------------	--

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(0022)

事務事業名称	区役所本庁舎等維持管理				款	02	項	01	目	05	事業	001	整理番号	021	
現担当課名	経理課		係名	庁舎管理係		連絡先電話番号	1533		昨年度整理番号	021					
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 5年度	実行計画事業	目標	03	施策	09	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	経理課								事業評価区分	施設維持管理					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	本庁舎、分庁舎、職員会館、賃借ビル	根拠法令等	(1) 消防法 (2) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	来庁者の利用環境と職員等の執務環境を良好に保ち、本庁舎等の機能維持及び時代に適合した設備更新により利便性を向上させる。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	本庁舎、分庁舎、職員会館等の建物・設備その他施設の維持管理を行う。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								92.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	692,475	870,501	763,997	852,866	791,264	878,113	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	98,933	84,175	87,884	67,356	70,350	85,585	
	上記以外の職員	7 千円	22,050	25,725	25,746	40,458	41,877	38,070	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	813,458	980,401	877,627	960,680	903,491	1,001,768		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	813,458	980,401	877,627	960,680	903,491	1,001,768	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 021

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	生ごみの資源化に伴う可燃ごみの排出量の削減		526	t
	本庁舎で使用する電力に占める再生可能エネルギーの使用実績	735,075	kWh	2,830
	本庁舎、分庁舎、職員会館、賃借ビルの光熱水費の使用平米数	40,696	m ²	119,725
	その他 (本庁舎保全・総合衛生管理業務ほか)			639,778
取組成果	<p>本庁舎等における省エネ・環境対策として、コージェネレーションシステムによる自家発電を活用し、電力会社からの供給量を削減したほか、照明の減光、空調温度の調整などの節電対策を実施しました。さらに、2050年ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、本庁舎において使用する電力に占める再生可能エネルギーの割合を増やすなど、温室効果ガス排出量の削減に取り組みました。</p> <p>区立施設におけるごみの削減については、排出される生ごみの資源化を進め、可燃ごみの排出量の削減に努めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>本庁舎で使用する電力の一部 (年間使用量のうち約160万kwh (キロワットアワー)) を再生可能エネルギーに切り替えるとともに、区立施設で排出する生ごみをメタン化により資源化し、ごみの総排出量を削減しました。また、照明の減光、空調温度の調整などの節電対策を実施しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>本庁舎等は機器や設備が老朽化しており、必要最小限の改善を計画的に行います。その際、環境に配慮した施設への転換、ユニバーサルデザインへの対応等の課題にも対応していきます。こうした必要な維持管理を行いつつ、東棟は築59年を経過していることから、今後は本庁舎改築に向けた本格的な検討を進めていく必要があります。</p> <p>本庁舎で使用する電力のうち電力会社からの購入分については、令和6年11月1日以降100%再生可能エネルギーへ切り替えます。また、職員数の増加等により本庁舎の執務室・会議室が慢性的に不足しているなか、執務室に転用する会議室や、賃貸借契約の期間満了により退去する会議室があることから、本庁舎周辺の民間会議室など新たな場所を確保する必要があります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>本庁舎等の老朽化への対応、脱炭素の取組に伴い、コストが増大する見込みです。また、職員数の増加等により本庁舎周辺に執務室・会議室等を確保するため、民間ビル等の賃借により新たに賃借料を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00023)

事務事業名称	庁有車の管理			款	02	項	01	目	05	事業	002	整理番号	022
現担当課名	経理課		係名	庁舎管理係			連絡先電話番号	1543		昨年度整理番号	022		
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	03	施策	09	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	経理課							事業評価区分	内部管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	庁有車 区職員（業務上、庁有車を使用する職員）	根拠法令等 (1) 道路交通法 (2) 庁有車の管理等に関する規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	庁有車を円滑に使用できるように管理する。運転者の安全運転の自覚を高め、交通事故ゼロを目指す。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	庁有車を集中管理し、車両の維持管理等を行う。庁有車の事故処理及び運転登録に関する管理を行う。職員に対する講習会を実施し、安全運転教育を行う。大気汚染防止とガソリン使用量抑制のため、より環境性能の優れた低公害車・低燃費車を導入する。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比(%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標（ 1 ）	1								91.6
活動指標（ 2 ）	2								
成果指標（ 1 ）	3								
成果指標（ 2 ）	4								
事業費	5 千円	135,162	150,287	131,774	151,936	139,159	167,309	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	18,438	16,686	17,801	16,636	17,328	16,742	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	157,275	170,648	153,253	172,250	156,487	184,051		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	157,275	170,648	153,253	172,250	156,487	184,051	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 022

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	庁有車運行管理業務委託	9	人	68,637
	車両の賃借 (新規導入の低公害車を除く)	69	台	41,957
	低公害車の導入	3	台	245
	電気自動車充電用コンセント設置	8	口	1,729
	その他 (保険料、点検整備・修理、燃料費、自動車重量税ほか)			26,591
取組成果	<p>温室効果ガスの排出量削減に向けて、故障や劣化が進んだ車両7台と原動機付自転車6台に替えて、低公害車 (HV車) 3台や電動アシスト自転車2台を導入したほか、電気自動車の充電環境を整備するため、本庁舎に充電用コンセントを8口追加設置しました。</p> <p>また、庁有車による交通事故を防止するため、職員を対象に庁有車運転登録講習会や安全運転講習などを実施し、安全運転の徹底を図るとともに、自転車安全運転講習会では、車道走行時の注意点や自転車用ヘルメットの効果等を説明しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>庁有車の運転管理業務委託、車両入替、点検整備等を計画的に行い、車両の適切な維持管理に努めるとともに、運転登録講習会や緊急自動車運転講習、自転車安全運転講習など、庁有車の事故防止に向けた取組を進めました。</p> <p>令和6年度は庁有車10台を入れ替えることとし、そのうち6台は電気自動車、2台はハイブリッド車とする予定です。入替に伴い、電気自動車は合計10台となり、従来の職員の移動や荷物運搬用車両のほか、今回より安全パトロールカーにも配備されます。</p> <p>また、令和5年11月に起震車による交通事故が発生し大きな損傷を負いましたが、今後も多くの方に地震体験の機会を提供していくため、損傷箇所を修理し、復旧しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>庁有車が事故を起こすと、修理費等の直接的なコストに加え、事故対応に伴う時間的・間接的な損失が発生することから、運転登録講習会や安全運転講習、自転車安全運転講習等を通じて、安全運転に対する職員の意識啓発に努めていきます。</p> <p>庁有車の更新にあたっては、電気自動車や低公害車を導入するとともに、電動アシスト自転車を導入し、クルマから自転車への転換を推進することで、温室効果ガス排出量の削減並びに環境負荷の低減に努めていきます。</p> <p>また、こうした取組を進めていくための基盤として、車両の適切な維持管理、点検整備を計画的に進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>走行時のCO2排出量を削減するため、更新時期を迎える車両については、環境性能に優れた電気自動車等への切替を進めます。導入後、15年以上が経過している特殊車両 (道路作業車等) の入替にあたっては、同等の電気自動車が販売されていないことから、ガソリン・軽油の車種の中から、より環境性能の高い車種を選択していきます。また、自転車利用をより一層推進していくため、電動アシスト自転車の台数を拡充します。</p> <p>庁有車の使用年数、電気自動車のラインナップ、電動アシスト自転車導入に伴う自動車利用実績の変化等を踏まえ、庁有車の入替時期や台数適正化を進めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00436)

事務事業名称	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進						款 06 項 01 目 01 事業 003	整理番号	423	
現担当課名	環境課	係名	温暖化対策係				連絡先電話番号	3732	昨年度整理番号	428
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成15年度	実行計画事業	目標 03	施策 09	計画事業 01	02	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 5年度担当課名	環境課						事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、事業者、NPO等団体、行政（区）	根拠法令等	(1) エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法） 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法） (2) 杉並区環境基本計画 杉並区地球温暖化対策実行計画
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	温室効果ガスの削減 ○環境意識の啓発 再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー対策の促進 まちの省エネ化 環境に優しく、災害に強いまちづくり	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	杉並区再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成件数 電気自動車用充電設備設置助成件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民の理解と協力、自主的な参加を促すため、環境や省エネについて分かりやすい情報提供を行う。 ○住宅や建築物の省エネ性能の向上を推進するため、再生可能エネルギーの活用や省エネに寄与する機器等を導入する区民に対して助成を行う。 電気自動車用充電設備の導入助成を行い、クリーンエネルギーの利用を促進する。 杉並区地球温暖化対策実行計画を策定し、区民・事業者に向けた普及啓発を図る。 新たな再生可能エネルギー等の取組を推進する。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	区内の太陽光発電導入容量 資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」【社会】 区内年間二酸化炭素排出量 実績値は、集計の関係上、最新の数値である前々年度数値を使用しています。【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標（ 1 ）	1 件	706	884	1,005	884	1,342	1,580	151.8	53.7
活動指標（ 2 ）	2 件	25	25	54	25	60	65	240.0	
成果指標（ 1 ）	3 万kW	2.45	2.55	2.63	2.70	2.94	4.03	108.9	
成果指標（ 2 ）	4 千t-CO ₂	1,461	1,374	1,466	1,306	1,483	1,237	113.6	
事業費	5 千円	55,264	155,986	115,063	334,117	179,390	209,635	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	13,349	37,544	48,175	76,690	83,677	86,084	予算執行率について、省エネ家電買換促進助成を補正予算により計上しましたが、補助金全額及び委託料の約82%が令和6年度執行となるため、執行率が53.7%にとどまっています。令和6年度への繰越額144,824,000円
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	5,186	7,356	12,182	11,421	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	72,288	197,205	168,424	418,163	275,249	307,140		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	1,778	2,003	5,227	10,991	36,491	119	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,778	2,003	5,227	10,991	36,491	119	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	70,510	195,202	163,197	407,172	238,758	307,021	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 423

内容	規模	単位	事業費 (千円)
杉並区再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成	1,342	件	121,624
電気自動車用充電設備導入助成	60	件	2,491
LED照明機器切替助成	97	件	21,797
すぎなみエコチャレンジ事業	802	件	3,138
その他 (電気自動車用急速充電設備電気料、事業委託等)			30,340

主な取組

取組成果
杉並区地球温暖化対策実行計画を策定し、広く周知を行うとともに、カーボンオフセット事業、路面太陽光発電の試験導入、区民の省エネ行動を後押しするすぎなみエコチャレンジ事業等を実施しました。再エネ・省エネの各種助成金は、補正予算により、当初計画884件を上回る1,342件の助成を実施しました。また、気候変動対策に関する区への意見提案の作成や、区民の意識醸成・行動変容を目的として令和6年3月から気候区民会議を開催しました。令和6年8月までの全6回の開催により、区民参加による気候変動対策を推進していきます。

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	杉並区地球温暖化対策実行計画の目標である2030年カーボンハーフ・2050年ゼロカーボンシティの実現には、区民・事業者が気候変動問題を自分事として環境配慮行動に取り組むことが不可欠です。このため、ロビー展や相談窓口の開催等、様々な機会を捉えて、区民の行動変容につながるよう理解促進・普及啓発に努めていきます。 旧南伊豆健康学園跡地での太陽光発電事業は、調査結果等により実施しないこととなったことを受け、区立施設における再生可能エネルギー電力の調達を推進するため、課題を整理し方向性を示していく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	再生可能エネルギーの利用や省エネルギー対策の更なる推進を図るため、各種助成金については、国や都の毎年の見直しを踏まえ、助成制度を見直ししていく必要があります。 国の交付金を活用した省エネ家電買換促進助成金は、事業公表段階から反響が大きく、申請状況等分かりやすい周知に取り組んでいきます。 気候区民会議の意見提案に対して、一つ一つ施策への反映を検討し、対応を公表していく予定であり、意見提案の内容が充実したものとなるよう会議のプログラムや運営方法を工夫していきます。 また、気候区民会議の取組を広く区民へ周知していくため、区ホームページ等での情報発信やシンポジウムの開催等に向けて取り組んでいきます。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年度からの新たな取組として、青梅市内の森林で小学生及びその保護者を対象とした体験型森林環境学習を実施しました。また、ゼロカーボン機運醸成事業として科学体験施設「IMAGINUS」で太陽光発電の先端技術をテーマにした体験型企画展及びワークショップを実施したほか、若年層を対象に実施する「フィールドワークを通じた杉並エコマップ作り」の検討を事業者と進めました。 全6回にわたる気候区民会議を開催し、気候変動対策に関する意見提案が区に提出されました。今後気候危機対策推進本部により事業化等に向けて検討を行い、その結果を年度末に開催予定のシンポジウム等により広く周知していきます。また、再エネ・省エネの各種助成及びLED照明機器切替助成は、前年度を上回るペースで申請があり、予算執行の適切な管理を行っていきます。
事業の方向性・改善策	区民・事業者の機運醸成を図る取組を引き続き実施するとともに、温室効果ガス排出量の削減に直接寄与する区立施設への再エネ電力の調達を推進します。 気候区民会議の意見提案の事業化等に向けて、組織横断的に検討を進めていきます。 各種助成金については、年度を通じて申請を受け付けることができるよう、適正な予算確保に努める必要があります。令和6年度は補正予算の検討を行うとともに、令和7年度以降の予算については、杉並区実行計画等の改定に反映させます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>区の2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、既存事業に加え、環境部が所管する施設への再エネ電力の調達や気候区民会議の意見提案に基づく新たな事業の検討・実施に伴う必要な予算を検討します。</p> <p>また、再生可能エネルギー等の導入・省エネルギー対策助成、電気自動車用充電設備導入助成、LED照明機器切替助成に關しての適正な規模について検討し、杉並区実行計画等の改定に反映させていただきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00438)

事務事業名称	環境配慮行動の推進			款	06	項	01	目	01	事業	004	整理番号	424
現担当課名	環境課		係名	温暖化対策係			連絡先電話番号	3732		昨年度整理番号	429		
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標	03	施策	09	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	環境課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、環境団体、事業者	根拠法令等	(1) 環境基本計画 (2) 杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	環境配慮行動を推進するため、区立小中学校の児童・生徒を対象とした「小中学生環境サミット」を実施し、各校の環境に係る取組内容や環境問題への意識を共有する。 区・区民・事業者が協力連携し、ワンウェイプラスチックを削減する。	活動指標	環境学習個別学校支援校
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	小中学生が自校で行っている環境に係る取組を発表し、意見交換を行う。 マイバッグ推進連絡会を開催するとともに、イベント等でワンウェイプラスチック使用削減に向けた啓発活動を行う。	指標名 (1)	マイバッグ推進及びワンウェイプラスチック削減キャンペーン開催数
		指標説明	
		成果指標	小中学生環境サミット参加児童・生徒数
		指標名 (1)	【行政】
		指標説明	キャンペーン参加者数 (アンケート数)
		指標名 (2)	【行政】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 校	23	32	24	34	22	36	64.7	85.6
活動指標 (2)	2 回	1	0	4	6	5	6	83.3	
成果指標 (1)	3 人	86	100	77	100	89	100	89.0	
成果指標 (2)	4 人	35	0	693	700	780	700	111.4	
事業費	5 千円	3,213	2,894	2,763	3,148	2,695	6,109	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,267	14,183	21,007	22,953	18,634	9,583	小中学生環境サミットにおける学校支援実績の減により、予算執行率は85.6%にとどまりました。
	上記以外の職員	7 千円	2,940	3,675	3,126	4,414	1,523	1,523	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	20,420	20,752	26,896	30,515	22,852	17,215		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	20,420	19,752	25,896	29,515	21,852	16,215	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 424

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	小中学生環境サミット開催			2,511
	レジ袋削減推進、マイバッグ運動の推進、消耗品の購入、通信費ほか			184
	その他 ()			
取組成果	<p>小中学生環境サミット事業には13校が各々テーマに取り組み、後日区役所ロビーでパネル展示を行いました。また、サミット参加校以外の学校に対しても、環境学習に関する個別学校支援を実施しサミット参加校を含む計22校に環境学習コーディネーターを派遣しました。</p> <p>レジ袋を含むワンウェイプラスチックの使用削減に向けた取組では、地域区民センター等のイベントに計5回参加し、プラスチックごみによる海洋汚染を伝えるパネル展示や環境クイズの実施、及び啓発品の配布等の普及啓発に努めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>環境学習に関する個別学校支援の対象校数は横ばいとなっていますが、新たな環境学習コーディネーターが増え、今後より手厚く支援することが可能となりました。</p> <p>小中学生環境サミットにおいては、初参加の学校が2校あり、また、本庁舎会議室でレイアウトも工夫して実施したことにより、多くの生徒が参加することができました。しかし、傍聴室の中継映像の安定性等が課題となったため、引き続き会場のレイアウトや中継方法を検討し、改善に努めます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>レジ袋の削減については、マイバッグ持参率が目標を達成したため、ワンウェイプラスチック使用削減のための取組を重点的に行います。令和5年度においては、阿佐谷ジャズストリートで新たにキャンペーンを行ったり啓発物品を活用した参加者の取組に対するアンケートの実施を試み、多くの人に啓発活動を行うことができました。今後も、令和6年度から開始するリユース容器貸出事業とも併せて更なるワンウェイプラスチック削減のための取組や啓発活動の充実に努めます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>小中学生環境サミットについて、令和6年度は10校から参加申込がありました。開催に向けて各校で環境学習を開始しており、環境学習コーディネーター等が学校別に支援しています。</p> <p>ワンウェイプラスチックの削減については、令和6年度からリユース容器貸出事業とリユース容器活用支援助成事業を追加し、「ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進」を新たな事務事業として編成し、取り組んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>小中学校における環境学習個別学校支援については、各学校の特性やニーズに応じてサポートする必要があるため、経年のサポート等により事情に詳しい環境学習コーディネーター等と密に連携を図り支援を行います。</p> <p>ワンウェイプラスチックの使用削減に向けた取組の推進については、区内学校、団体等と協力しながら啓発活動を行うとともに、引き続き各種イベントにおける区民への普及啓発や区立施設への給水機設置等の取組を推進していきます。また、新規事業であるリユース容器貸出事業等を普及させるため、利用者の意見等を反映しながら、利用拡大を目指します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>小中学生環境サミットや環境学習個別学校支援は、児童や生徒が多種多様な環境問題を学習したり自然環境を見て触って体験できる貴重な機会です。今後も教育委員会や環境学習コーディネーター等と協力し、環境学習における意欲促進や機会創出を推進します。</p> <p>なお、令和6年度から「ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進」に移管した事務事業において、リユース容器貸出事業は、実際のイベントの利用数をもとに区保有食器等の見直しを行います。リユース容器活用支援助成金は、助成対象等の見直しを行い、利用拡大を目指します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00443)

事務事業名称	自然環境の保全				款	06	項	01	目	02	事業	003	整理番号	431	
現担当課名	環境課		係名	温暖化対策係		連絡先電話番号	3735		昨年度整理番号	436					
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	03	施策	09	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和5年度担当課名	環境課								事業評価区分	一般					

令和5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、環境団体	根拠法令等	(1) 自然環境保全法 (2) 環境基本法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が生き物の名前や生息地を知ることにより自然を身近に感じ、環境保護の意識を高める。動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とする。	活動指標	広報誌「すぎなみの街と自然」発行回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	「自然環境調査報告書」及び「河川生物調査報告書」を概ね5年ごとに発行する。広報誌「すぎなみの街と自然」を発行する。	指標名 (1)	自然観察会参加人数
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和5年度	令和5年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1 回	1	1	1	1	1	1	100.0	96.8		
活動指標 (2)	2										
成果指標 (1)	3 人	111	150	98	150	122	150	81.3			
成果指標 (2)	4										
事業費	5 千円	83	3,667	3,574	7,394	7,154	11,511	特記事項			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,510	8,343	13,337	10,644	5,106	4,186	令和5年度事業費は、3年間かけて実施する第8次自然環境調査の本調査を実施したため、委託費が増となりました。		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 (5+6+7)	8 千円	8,593	12,010	16,911	18,038	12,260	15,697				
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0			
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	8,593	12,010	16,911	18,038	12,260	15,697				

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 431

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	広報誌「すぎなみの街と自然」発行	1	回	37
	第8次杉並区自然環境調査の実施	1	回	7,117
	その他 ()			
取組成果	<p>区内の動植物を紹介する広報誌「すぎなみの街と自然」を発行し、区公式ホームページに掲載するとともに、調査協力者や区立図書館等に配付しました。</p> <p>また、第8次杉並区自然環境調査を実施しました。なお、令和5年度は3年間かけて実施する第8次調査の2年目として、令和4年度に実施した事前調査との継続性を維持しながら、令和6年度実施予定の補足調査及び報告書作成に向けた本調査を実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>自然環境調査報告書と河川生物調査報告書は、区内の自然環境や動植物の理解を深めるための資料として活用されています。また、自然環境調査は専門家からその継続性と精度が高く評価され、多くの学術論文の引用実績があります。今後も区の自然環境の変化を同水準で経年的に観測し、継続性を確保していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>区内の自然環境を紹介する「すぎなみの街と自然」を発行し、区公式ホームページに掲載のほか、区立図書館等へ配付しました。令和6年度に発行予定の調査報告書及び調査報告書概要版についても区公式ホームページへの掲載、区立小中学校への供覧のほか、区公式電子地図サービス「すぎナビ」への掲載など、認知度を向上させるためより広く周知に努めます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和4年度から6年度に実施した区内の自然環境の実態調査結果を取りまとめ、第8次自然環境調査報告書本編及び概要版の発行の準備を進めています。あわせて、区内の自然環境を紹介する「すぎなみの街と自然」の発行の準備も進めています。</p> <p>また、成果指標である自然観察会参加人数については計画されている全4回のうち1回が実施され、18名の参加がありました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>自然環境調査報告書と河川生物調査報告書は、専門家から高い評価を受けているその継続性と調査の精度を維持しつつ、ICT技術を活用した調査方法の導入を検討・推進していきます。</p> <p>報告書は、本編のほか、写真やグラフを豊富に掲載した概要版を作成し、区公式ホームページへの掲載のほか、区立小中学校の全学級と図書館等区立施設での閲覧用に提供します。区民が区内の生き物の名前や生息地を知り自然をより身近に感じることで、環境保護意識の更なる醸成につながるよう引き続き分かりやすい周知に努めていきます。</p> <p>河川生物調査については、令和7年度に自然環境調査の実績を踏まえ実施します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度に発行予定の第8次杉並区自然環境調査報告書について、本編と概要版の頒布とともに、報告会を実施し、区民への周知を図ります。</p> <p>令和7年度は、区の河川環境と生物多様性の保全を図るため、過去の調査との継続性を維持しつつ第9次河川生物調査と報告書作成を実施します。</p> <p>区内の自然環境を紹介する「すぎなみの街と自然」も引き続き発行します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00455)

事務事業名称	環境活動推進センター等の事業運営			款	06	項	01	目	04	事業	003	整理番号	441	
現担当課名	環境課		係名	温暖化対策係			連絡先電話番号	3732		昨年度整理番号	446			
上位施策No・施策名	09 質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成16年度													
令和 5年度担当課名	環境課			事業評価区分							一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民・環境団体・団体・事業者など	根拠法令等	(1) 杉並区立環境活動推進センター条例 (2) 杉並区立環境活動推進センター条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民や環境団体、事業者等の環境配慮行動を推進する。	活動指標	講座・講演会等の参加者数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	環境団体登録数
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	環境に関する情報収集や情報提供、講座等の開設を通じ、環境配慮行動への普及啓発を行う。環境団体等の交流及び連携を推進する。環境活動推進センターの維持管理を行う。	成果指標	環境に配慮した行動をしている人の割合
		指標名 (1)	
		指標説明	区民意向調査で環境に配慮をした行動をしていると回答した区民の割合 (5設問の平均) 【区民】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 (1)	1 人	1,485	1,340	1,896	2,063	1,910	1,935	92.6	99.4	
活動指標 (2)	2 団体	26	35	26	35	28	35	80.0		
成果指標 (1)	3 %	87.4	100.0	87.5	90.5	84.3	92.0	93.1		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	83,712	87,288	86,921	88,971	88,397	96,125	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	11,430	10,846	10,762	9,648	10,322	4,698		
	上記以外の職員	7 千円	735	735	2,060	2,942	1,523	1,523		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	95,877	98,869	99,743	101,561	100,242	102,346			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	95,877	98,869	99,743	101,561	100,242	102,346		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 441

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	環境活動推進センターの管理運営			38,975
	リサイクルひろば高井戸の管理運営			4,905
	環境活動推進センターの施設管理			44,517
	その他 ()			
取組成果	<p>環境活動推進センターは、区民一人ひとりの環境配慮行動を推進するため、講座・講演等を実施するとともに、活動スペースや講座室の貸し出し等により、環境団体の交流及び連携を推進し、環境団体の活動活性化に取り組んでいます。</p> <p>令和5年度は、講座・講演会等の参加者数及び環境団体登録数について計画数には達しませんでした。令和4年度に比べ増加しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>講座・講演会等の参加人数は、広報等周知の工夫により令和4年度に比べ増加しましたが、計画数には達しませんでした。</p> <p>親子向け講座については、募集人数に対し2倍以上の応募があったものもあり、区民ニーズの的確な把握に努め、更なる参加者の増加を目指し、講座内容や講座数、募集人数について検討していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>環境団体登録数は平成24年度以降減少傾向が続いていましたが、令和4年度比で2団体増加となりました。登録団体数の増加に向け、WEBでの情報提供やオンライン会議の定着を図るなど、新規の団体が参加しやすい環境整備に努めていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>講座・講演会等の参加人数について、エコバッグ制作・クラフト物づくりなど体験型講座や自然観察会などの屋外講座を中心に、応募人数が定員を上回る講座が多数ありました。</p> <p>また、環境団体登録数について、新たに1団体の新規登録がありました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区民等による環境配慮行動の促進を図るため、講座運営については、引き続き区民ニーズの的確な把握に努めるとともに時代の流れを捉えた講座の企画を検討していきます。</p> <p>さらに、登録環境団体については、環境団体連絡会等で団体相互の情報共有・連携を図るとともに団体の登録数の増加を目指し、エコ路地フェスタや区公式ホームページ等を活用して団体の活動状況等の周知に努めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>ゼロカーボンシティの実現に向けて、引き続き区民・事業者・環境団体等と協力し、環境配慮行動を促進するきっかけとなる講座・講演会等の開催に努めていきます。また、応募人数が多かった講座を分析・見直しし、令和7年度以降の講座内容に反映するなど、環境学習の質の向上や環境意識の創出につなげます。</p>	